# 平成28年10月23日執行

# 志摩市長選挙公報

# 志摩市選挙管理委員会

- ・色ビン、プラスチック等の分別の簡素化を図ります。
- ・粗大ごみの軒先回収を進めます。

### 獣害対策

深刻な問題になっている獣害対策に対応するための組織、猪鹿 庁を立ち上げ、若者やベテランによる駆除や、ジビエ化、6次

## 産業化も含め働く場を作り森林と農地を守ります。 【ポストサミットと観光振興、産業振興】

- 志摩に観光系大学、料理学校等のキャンパスを誘致し、若者が住み続けられ 集まる地域にします。また水産業、農業などの産業を連携させ、志摩マルシェ 伊勢志摩サミットで観光客の増えた横山の駐車場整備等を進め、さらに満足
- 度を高め誘客を図ります。また志摩の海辺のライフスタイルを創造し新しい 観光資源にします。
- 志摩の優れた産物、伊勢えびや、カキ、アワビ、きんこいも等の増殖・増産 を図り、国内外に販路を開拓します。

・志摩市教育研究所を立ち上げ、学力の向上やいじめ対策等、 教育環境を充実させます。

- ・浜島診療所の常勤の医師を確保し、地域の医療体制を復活させます
- 市民と創る ・市民病院の経営健全化を図り、総合医を中心とした医療体制を整備します
- ・県立志摩病院の救急体制の強化と産婦人科の再開に向け、県と連携を取り協力し
- ・通院バスの運行の検討を進めます。
- ・高齢者福祉の充実と障がい者の交通費補助を行います。

磯部・和具等の閉鎖された清掃センターを再利活用し、生ごみや間伐材を利用したバイオマス発 電や余熱を利用したアワビ等の中間育成、果樹栽培などを行い施設の有効活用を進めます。

- 防災対策 ・防災教育を強化し災害に備えます。
- ・情報技術やフェイスブックなどを利用した災害情報ネットワーク化を図り、防災体制を強化します。
- ・職員OBによる災害即応チームを発足させ、発災時や応援体制を強化します。

## 空き家・空施設対策

空き家・空施設を再生し地域を活性化させます。

## 支援とご協力が、この町を明るくします。再度のご支援お願いします。 <志摩市長選挙に立候補をした理由と政策> 私は中学校を卒業後は波切を離れ、様々な人生経験を

どこに居ても、私は誰からも親切にしてもらい、そんな自分を誇らば 思っていますか"、それらは皆、故郷大王町の人々とにぎわい"と海や 田畑が私を育ててくれたおかげです

して、また故郷大王町に戻ってきました。

その大王町から全てが消え厳い、現実があります。 引売省の時は町議会を1旁聴したり、役場に問い合わせていましたが 昨年リ帯省してからは 95歳の母の介護もあり、波けかに いますので、サミットや 地方創生,地域医療等々の集会で志摩市のことが大分れかりました。 知ったことに眼をつぶることはできませんので立候補することにしました。

選挙公営は何もない私にとって立候補の大きな助けになりました。 志のある普通の人がこの制度により議員となり、地域の発展や人之のために活動をする。 そんな社会のための先駆になれればと願っています。

## 〈選挙公約〉

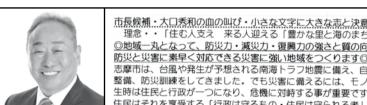
- (1) 自治会や各種団体,市民集会等の公開討論の回数をは自やし,住民のも刀実な要望 を 知るとともに、 住民の市政人の参画を進めます。
- (2) 波切港の活用とイベント頼みではない電光客集客のために、歴史と文化伝統 のある伊勢~熊野を一体とした観光政策、下日本の、世界のおり源境伊勢へ熊野、 を各方面に値きかけます。
  - 「桃源境、とは、子供とお年寄の笑顔が皆の働く喜こびであり 生活を通して人生の意味を悟る社会です。

皆様のご賛同、ご支援をよるLくお願い致Lます。

志摩市長選挙

投票日10月23日(日)

投票時間 午前フ時から 午後6時まで



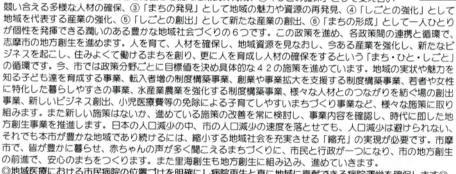


理念・・「住む人支え 来る人迎える「豊かな里と海のまち」の地方創生を前に」 ◎地域一丸となって、防災力・減災力・復興力の強さと質の向上をはかり、防災の日常化を構築し 防災と災害に素早く対応できる災害に強い地域をつくります◎ 志摩市は、台風や発生が予想される南海トラフ地震に備え、自治会市民と連携し避難路等の設置や 整備、防災訓練をしてきました。でも災害に備えるには、モノだけの対応では限界があり、災害発 生時は住民と行政が一つになり、危機に対峙する事が重要です。今は災害発生時、行政が主に動き 住民はそれを享受する「行政は守るもの・住民は守られる者」の傾向があり、これでは取り組みの 効果も充分に発揮されません。災害に立ち向かうのは地域社会全体で、防災や復興は住民と行政の 共同がこれまで以上に求められます。私は市民一人ひとりの生命の安心安全に、これまでの防災滅 災施策も進めながら「地域社会全体で災害に備える」体制の構築を進めます。住民行政が一つにな って災害に向かえば、防災のみならず住民と行政の連携や市民活動や行政運営の改善にもなります。

互いを思い合う取り組みが志摩市を元気にそして地方創生を押し上げます。 ◎住む人支え、来る人迎える、「豊かな里と海」の地方創生事業の推進で、市民がいつまでも住み

続けられる志摩市に変革していきます◎ 市は27年度に志摩市人口ビジョンと志摩市創生総合戦略を策定し、28年度から地方創生に取り組み 始めました。私はこの志摩の地方創生事業の推進を加速強化し、志摩市のめざす「住む人支え、来 る人迎える、豊かな里と海のまち」の実現を図ります。市民や事業者の「やる気」を「本気」に 「本気」を「動き」にして、それを支援できる仕組みで雇用を図り、志摩市がこれからも元気に

続いていくための取り組みをします。志摩市創生総合戦略の「まち・ひと・しごと創生」を6つの 政策にわけ事業を張り付けました。①「ひとの育成」として地域の食材、産業、文化、自然等を理 愛し、生かすことのできる力強さを備えた市民の育成、②「ひとの確保」として支え合い



○地域医療における市民病院の位置づけを明確にし病院再生と真に地域に貢献できる病院運営を確保します◎ ○伊勢志摩サミット成功の効果を生かした取り組みを進めます◎◎教育の充実と子供たちの郷土愛への深まり を培います◎◎財政健全化と財政運営の効率化をさらに進めます◎◎福祉行政の深化を図ります◎

他にも政策はじめ解決する課題はたくさんありますが、 -つ、責任を明確にした政治、明確に決められる政 治をもって、市民の皆様が志摩市で、この地域で、これからも生き生きと暮らしていくために前衛となって働き ます。私はこれからも、市民目線で、皆様と話をしながら、この地域の抱える問題課題を、ともに解決し、この 志摩市で皆様が安心で心豊かに暮らせることを願い、しっかりとぶれずに政治をおこなっていきます。皆様のご













# 志摩市長選挙

投票日は 10月23日(日)

投票時間 午前 7時から午後 6時まで

(期日前投票) 10月22日(土) まで 午前8時30分から午後8時

10月23日に仕事、旅行、レジャー等で投票できない方は、期日前投票をしましょう。

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました。(平成10年10月24日以前に生まれた方には、選挙権があります。)

大事な投票、忘れずに!



志摩市選挙管理委員会